

学校運営協議会だより

文責 CSコーディネーター中村

回 覧

学校運営協議会だより NO15 では、「総合的な学習の時間」について、また NO16 では、小学校の「食育教育」を紹介させていただきました。今回は、「特別の教科道徳」について、指導主事へのインタビュー(■は回答)形式で紹介させていただきたいと思っております。

特別の教科道徳とは何ですか？教科書はありますか？



■かつて「道徳」は、領域として行われていました。学校教育法施行規則の一部が改訂され、小学校で2018年度、中学校では2019年度から「特別の教科道徳」として行われ、自立した人間として他者とよりよく生きるための道徳性を養うことを目標としています。教科書もあります。小学生は「教育出版」、中学生は「東京書籍」(次年度変更「学研」)の教科書を使用しています。

どんな事を学びますか？



■特別の教科道徳では、A 自分に関すること B 人との関わりに関すること C 集団や社会の関わりに関すること D 生命や自然、崇高なものとの関わりに関することを学びます。具体的な例(A 自分に関すること)をあげてみます。

A 自分に関すること→「いじめ」を考える学習 (下記は「いじめ」の定義)

「いじめ」とは、児童等に対して、当該児童等が在籍する学校に在籍している等当該児童等と一定の人間関係にある他の児童等が行う心理的又は物理的な影響を与える行為(インターネットを通じて行われるものを含む)であって、当該行為の対象となった児童等が心身の苦痛を感じているものをいう。



例えば、小学校1・2年生においては、「よいこと悪いことの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと。」を学びます。

A 自分に関すること→「情報モラル」を考える学習

情報モラルは情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方と態度のことで、道徳科では、情報社会の倫理・法の理解と遵守といった内容を中心に学習します。

例えば、小学校5・6年生においては、「安全に気を付けることや生活習慣の大切さについて理解し、自分の生活を見直し、節度を守り節制に心がけること。」を学びます。



特別の教科道徳には評価がありますか？



■生徒の学習状況や道徳性に係わる成長の様子を継続的に把握する必要があります。ただし、数値による評価は行いません。

中学校の特別の教科道徳の授業を紹介します。(10月18日実施)

—〈教材「缶コーヒー」の要約〉—

通学の電車、向かい合わせの前の席に座るOL風でイヤホンをした女性が、缶コーヒーを窓のところに置く。その後、振動で落ちそうになる缶コーヒーを見て、手で持つようお願いするが、女性は反応しない。その時、電車の振動で缶コーヒーが落ち、スカートが汚れてしまった。「すみませんね。電車が急ブレーキをかけるから悪いのよ・・・」そう言って缶も拾わずに電車を降りていった女性。これを見ていた知人(友達)が「どうしてもっと強く言わないのよ・・・」と私に言った。

主題名	公德のモラル 単元名:気持ちよく生活するために「缶コーヒー」
資料名	缶コーヒー 中学道徳3 明日をひらく (東京書籍)
ねらい	公德のモラルを大切にし、人間としてお互いの連携を自覚し、より望ましい社会を実現しようとする態度を育てる。

□実践された中学校道徳の授業

導入:缶コーヒーの教材に入る前に、公共の交通機関のきまりやマナーを考えました。

みなさんはどう判断しますか？



◇公共の交通機関での行為

○食べる おにぎり	○食べない カップラーメン カップ焼きそば
○化粧(車内で) してもよい	○化粧(車内で) してはいけない

判断基準は？

展 開	○コーヒー缶が転がって、「わたし」のスカートとノートが汚れてしまったときそれぞれの人はどんな気持ちだったのか。 ○コーヒー缶が落ちそうになっているときに「OLの女性」と「わたし」はそれぞれどうすれば良かったのか。
振り返り	自分自身の問題として深く関わることができたか？

〈授業を参観した感想〉

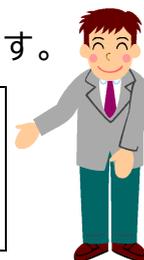
教材を基に、対話を通して、様々な人の生き方にふれたり、他の人の感じ方や考え方を聞いたりすることにより、深く考え将来に向けて自分自身の生き方を見つける時間にすることができていたと思います。(今回は、公共のマナーを考えることができました。)

～最後に、「特別の教科道徳」への学校運営協議会の関わり～

「特別の教科道徳」学習指導要領には、次のような説明が記載されています。

家庭や地域社会との連携による指導

道徳科の授業を公開したり、授業の実施や地域素材の開発や活用などに家庭や地域の人々、各分野の専門家等の積極的な参加や協力などを得たりするなど家庭や地域社会との共通理解を深め、相互の連携を図ること。



学校運営協議会は、道徳においても、地域と学校を繋ぐその役割が期待されています。